

好きなアニメで語り合う

くずまきDMO若者・高校生部会で活動する鈴木琴葉さん(1年)が11月26日、日曜ジャズ喫茶(新町)でアニメの鑑賞会を開催しました。

琴葉さんは友だち同士や家族での参加を呼び掛け、当日は高校生や親子など14人が来場。琴葉さんが選んだ、女子高生がキャンプに挑戦する話題のアニメや家族をテーマにした人気のアニメなど、4本のDVDをプロジェクターで上映し、参加者と楽しみました。琴葉さんは「私はアニメが好きなので、アニメを家族や友達との会話のきっかけにしたいと思って企画した。初めて一人で考えて準備したので不安だったが、参加してもらえて良かった」と話していました。



プロジェクターでアニメを上映する琴葉さん

福祉まつりでボランティア

11月23日、社会福祉協議会主催の令和5年度福祉まつりで、葛巻高校生の有志7人がボランティア活動を行いました。

生徒たちは来場者の受付や福祉バザーでの商品の値札付け、子ども向けの金魚すくいコーナーなどを担当。次々と訪れる来場者に、優しく丁寧に対応していました。

受付を担当した寺畑実桜さん(1年)は「普段友だちと話す声量だとお年寄りには聞こえにくいということを実感した」と気付きを話し、榎木茉莉亜さん(同)は「自分から積極的に声を掛けることが大事だと感じた。機会があったらまた活動したい」と意欲を見せていました。



受付で来場者を迎える高校生ボランティアの皆さん



販売最終日に行われたくずま〜での販売会

町に明るい話題と笑顔もたらす  
くずまきパンで地域に恩返し

葛巻高校3年A組の生徒の皆さんと白石食品工業(株)が共同開発した「あまずっぱ!くずまきパン」は、11月1日から30日まで東北6県のスーパーなどで販売されました。11月23日、葛巻小学校体育館で開催された令和5年度福祉まつりでは販売会が催され、300個を完売。柴田萌衣さんは「売れるか不安だったが、パンの特徴をしっかりと伝えることができた」とほっとした様子でした。  
販売最終日の30日にくずま〜で行われた販売会では長い行列ができ、生徒たちは混雑に動じることなく丁寧に接客していました。期間中、何度も購入したという三好マサノさん(茶屋場)は「高校生活の記念になる良い経験になったと思う。山ぶどうの酸味が効いた飽きない味でとてもおいしかった」と話していました。



福祉まつりの会場でくずまきパンを紹介



くずまきパンを味わう園児と生徒

益金で子どもたちにくずまきパンを贈る

同校ではパン販売で得た益金で町内の保育園と小中学校にくずまきパン480個を贈りました。

27日には生徒5人が葛巻保育園を訪問し、年長児と一緒にくずまきパンのおやつを楽しみました。園児たちが「あまずっぱくておいしい」とパンを頬張る様子に、生徒たちも顔をほころばせていました。田子内凛さんは「町民の皆さんから『おいしかった』と

何度も言ってもらえてとても嬉しかった。もっとPRを工夫したら良かったと反省するところもあり、商品開発にさらに興味を湧いた」と話し、指導にあたった椛沢和歌教諭は「ものづくりを学ぶ目的だったが、地域の特産品にスポットを当てて町の皆さんにも喜んでもらい、町に恩返しする結果となって良かった」と振り返っていました。

葛巻高校生のくずまきパンの取り組みは、町に明るい話題と皆さんの笑顔をもたらしていました。

新鮮!初めての関西

冬本番になり、寒さが増す中、葛巻町の皆さんはどうお過ごしでしょうか。

私たち葛巻高校の2学年は12月6日から9日まで関西方面に修学旅行に行ってきました!私は関西方面に行くのが初めてだったので京都、奈良、大阪の景色はどこも新鮮でした!関西の方言もたくさん聞く機会があり、「おおきに」を実際聞いた時は「ついに聞くことができた!」と嬉しくなりました。

特に思い出に残っているのは京都での自主研修です。研修の計画を細かく決めていたおかげでスムーズに楽しめました。京都では縁結びをお願いしてきたので、久慈市出身の私は葛巻町の人とさらにたくさんの縁が繋がると良いと



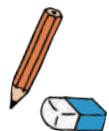
△自主研修では着物で京都のまち歩き△思い出を刻んだUSJ

思っています!短い期間ではありませんでしたが、修学旅行ならではの経験ができて楽しかったです。写真を見たり、お土産を配ったりしながら4日間の余韻に浸りたいと思います。そして冬休みが明けると模試や生徒会活動など盛りだくさんなので頑張ります!



四作美結(2年)

良い縁を期待して皆さんのことに挑戦したいと思います。今年もよろしくお願ひします!



高校生記者レポート

